



霧が丘

令和5年1月20日
横浜市立義務教育学校
霧が丘学園
校長 関口 和弘

「自分らしく」あたり前に

中学部副校長 濱部 剛

新年を迎えすでに1ヶ月経とうとしています。保護者の皆様、地域の皆様、本年もよろしくお願いたします。

早いもので令和4年度もあと2か月となりました。2月は逃げる月と言われるとおりあつという間に過ぎます。1日1日を大切に過ごし、自分を高め卒業や進級に備えてほしいと思います。

横浜市では1月9日成人の日に「二十歳の市民を祝うつどい」が行われました。二十歳になった卒業生たちが社会人や大学生になり、それぞれが目標をもち、今を自分らしく精一杯生きているようすが見られ嬉しく思いました。彼らが17歳の冬にコロナ禍が始まりました。高校3年生の夏には目指していた高校総体もなくなりました。そのような彼らのために、「二十歳の市民を祝うつどい」が無事に催され、たくましく成長した姿を見ることができ、目頭が熱くなりました。

9年生も同じように、6年生の3月から休校になり中学部への登校が始まったのは6月でした。8年生の自然教室も中止となり、9年生で沖縄修学旅行が実施された時には子どもたちも我々職員も大変喜びました。あたりまえの大切さを実感する中学部生活となりました。その9年生はただいま進路決定のまっただ中です。1月、2月と私立高校の入試が続き、2月14日(火)～17日(金)には公立高校の共通選抜が行われます。将来の夢や自分の適性から総合的に判断し、最終的な進路決定をしてほしいと思います。ここに進学すれば将来が約束されるといった進路はありません。将来を予測できない困難な時代を生きていく子どもたちには、「自分らしさ」を軸として「自分の未来を描く力」を身に付けてほしいと思います。

まだまだコロナ禍は続きますが、学校では昼休みに校庭で遊ぶ子どもたちの姿が戻ってきました。子どもたちは一人ひとりが目標や希望をもって新しい年をスタートさせたと思います。あたりまえの大切さを忘れず、自分を支えてくれる家庭や地域、仲間の大切さを忘れず、「自分らしさ」を大切にしてほしいと思います。子どもたちが自分らしく「自分の未来を描く力」を身に付けるために、「すすんで挑み、自分をみがく」、人とのかわり合いを大切に、豊かな人間性を育む1年にしていきます。



昼休みに校庭で遊ぶ生徒たち

【学校の様子をホームページにてお知らせしています】

各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

<霧が丘学園ホームページ>

URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>



QRコード